

1999年に北海道で発生した森林昆虫

おざき けんいち ふくやま けんじ はら ひでほ はやし なおたか
 尾崎 研一¹⁾・福山 研二¹⁾・原 秀穂²⁾・林 直孝²⁾

(2000.7.7 受理)

はじめに

北海道内における1999年の森林昆虫の発生状況を、北海道森林保護会議でとりまとめたので報告する。これは北海道水産林務部道有林管理室、同森林整備課、北海道森林管理局と各分局、林木育種センター北海道育種場、各大学演習林、民有林所有者等からの発生報告と同定依頼、および北海道林業試験場と森林総合研究所北海道支所が行なった調査に基づいたものである。発生情報をお寄せ頂いた関係各位にお礼申し上げます。

1999年の発生の特徴

カラマツを食害するヒラタハバチは弟子屈、札幌から苫小牧にかけて3種が同時に発生していたが、札幌近郊で発生しているカラマツヒラタハバチとニホンアカズヒラタハバチの大発生はほぼ終息した。カラマツヒラタハバチでは1998年以降、潜土幼虫の死亡率が約90%に達し、うちヒメバチの1種 (*Homaspis* sp.) の寄生による死亡率が60%を占めた。このヒメバチがカラマツヒラタハバチの大発生終息の一因と考えられる。このヒメバチは道東で大発生を続けているニホンカラマツヒラタハバチではみられないため、道東への導入を1998年から行っているが、定着はまだ確認できていない。ニホンカラマツヒラタハバチは清里、津別、標茶に被害を拡大している。被害地での被害後の新葉の回復がやや遅いのが気になりである。また、最初に発生した弟子屈においても依然被害は継続している。道南のカラマツ人工林におけるカラマツハラアカハバチ (写真-2) の被害は国有林では終息したが、民有林では北に拡大し、森町や八雲町でも被害が発生した。他にも1998年に剣淵町から美唄町にかけて発生したカラマツイトヒキハマキ (写真-1) は、1999年には上富良野町、中富良野町などにも被害が拡大し、被害面積も3000haを越えた。これらの被害報告より1999

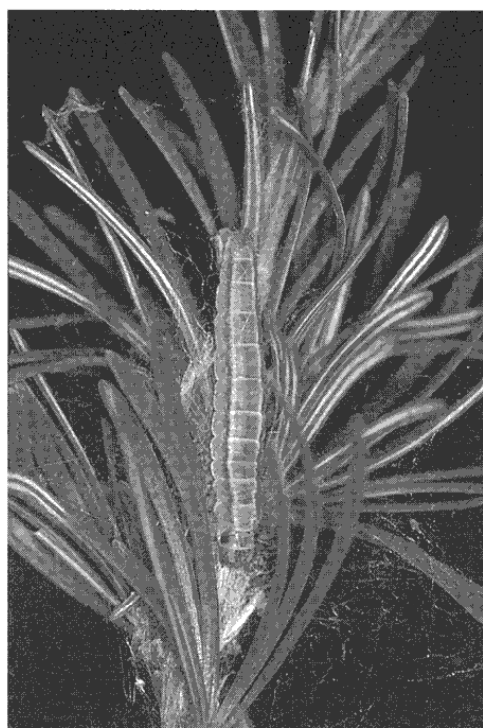


写真-1 カラマツイトヒキハマキ



写真-2 カラマツハラアカハバチ

年は、カラマツの食葉性害虫が多発したと言える。当別町のモミコスジオビハマキの被害は依然継続している。

数年前から道北や道央のアカエゾマツの若齢造林地(2齢級)や庭木で、冬芽が白く膨らんだまま開かないという被害が点在して発生している。原因はシントメタマバエの1種 (*Dasineura* sp.) で、冬芽の100%近くが加害される場合がある。詳し

くは林ら(1999)をごらんいただきたい。

阿寒町, 仁々志別の70-80年生トドマツ人工林において, トドマツの大量枯死が起こった。当初, トドマツキクイムシの加害が認められたことから, 虫害の可能性が示唆されたが, 調査の結果, 主原因はトドマツキクイムシではなく気象害などの他の原因であることが明らかになった。網走の防風林で起きたヨーロッパトウヒの枯死も同様の被害ではないかと思われた。

1999年度に報告された関係文献

- 福山研二 (1999) 平成10年度第14回森林保護会議報告, 森林保護, 270: 12.
- 福山研二 (1999) 平成10年度の北海道の森林昆虫の動向, 森林保護, 270: 12 - 13.
- 福山研二・原秀穂・林直孝 (1999) 1998年に北海道で発生した森林昆虫, 北方林業51: 267 - 270.
- 福山研二・磯野昌弘 (1999) 冠雪害後に発生したヤツバキクイムシによるアカエゾマツ造林木の立木枯損, 北方林業, 51: 113 - 115.
- 福山研二・黒田慶子・松岡茂 (1999) 平成11年度北海道森林保護事業推進協議会報告, 森林保護, 274: 33 - 35.
- 福山研二・黒田慶子 (1999) 森林病虫獣害発生情報: 北海道地方, 森林防疫, 48: 193-194.
- 福山研二・前藤薫・東浦康友 (1999) ツガカレハを追って18年-北海道津別町における越冬幼虫長期継続調査の中間報告-, 第43回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨, p. 67.
- 原秀穂 (2000) 北海道におけるカンバ類とヤチダモの主要害虫および被害対策, 北海道林業試験場研究報告, 37: 67 - 74.
- 原秀穂・林直孝 (1999) ヒメバチによるカラマツのヒラタハバチ防除の取り組み, 平成10年度林業技術研究発表論文集: 144 - 145. 北海道林業改良普及協会, 札幌.
- Higashiura, H., Ishihara, M. and Schafer, P. W. (1999) Sex ratio distortion and severe inbreeding depression in the gypsy moth *Lymantria dispar* L. in Hokkaido, Japan, *Heredity*, 83: 290-297.
- 林直孝・原秀穂 (1999) アカエゾマツの芽に虫こぶを作るシントメタマバエの一種の被害と生態, 森林保護, 274: 41 - 43.
- 磯野昌弘 (1999) 羽化トラップによる甲虫層調査-樹冠の甲虫類を調査するための新たな方法-, 第59回日本昆虫学会大会講演要旨, p. 107.
- ジュリウス ノボトニー・尾崎研一(1999)アカエゾマツ林に忍び寄るヤツバキクイムシの脅威-スロバキアに学べ-, 北方林業, 51: 116 - 119.
- 梶原淳一・赤間隆 (1999) カラマツ人工林におけるカラマツヤツバキクイムシの被害について, 平成10年度林業技術研究発表論文集: 156 - 157. 北海道林業改良普及協会, 札幌.
- 眞坂一彦 (1999) 芽吹きが早いアカエゾマツはマルナギナタハバチの食害を受けにくい, 光珠内季報, 114: 1-4.
- 尾崎研一 (1999) エゾマツの資源配分-摘芽に対する補償作用-, 第46回日本生態学会大会講演要旨, p. 177.
- Ozaki, K. (1999) Temporal effects of spatial density dependence when it varies between generations. Abstracts, The Ecological Society of America 84th Annual Meeting, p. 162.
- Ozaki, K., Kitamura, S., Subiandoro, E. and Taketani, A. (1999) Life history of *Aulacaspis marina* Takagi and Williams (Hom., Coccoidea), a new pest of mangrove plantations in Indonesia, and its damage to mangrove seedlings, *Journal of Applied Entomology*, 123: 281 - 284.
- 尾崎研一・鷹尾元・福山研二・磯野昌弘・伊藤賢介・石橋聡 (2000) ヒラタハバチ類大発生 of の広域解析, 第44回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨, p. 143.
- 尾崎研一・飯田滋生・磯野昌弘(2000)オオタカ of の環境指標性 2. オオタカ生息地域の生物多様性, 第47回日本生態学会大会講演要旨, p. 133.
- Shinohara, A. and Hara, H.(1999)Host-plant records for six pamphiliine sawflies(Hymenoptera, Pamphiliidae)in Hokkaido, Japan, *Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A*, 25: 123 - 128.
- Shinohara, A. and Hara, H. (2000) Notes on a spruce-feeding web-spinning sawfly, *Acantholyda aglaia* (Hymenoptera, Pamphiliidae), with description of a new subspecies from Hokkaido, Japan, *Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo, Ser. A*, 26: 1 - 11.

山田浩二・佐伯貴光・井本正幸・高野幸彦・中島清道・原浩・原秀穂・林直孝(1999) ヤツバキクイムシによる生立木被害と増殖抑制の試み, 平成10年度林業技術研究発表論文集:142-143.

北海道林業改良普及協会, 札幌.
1) 森林総合研究所北海道支所
2) 北海道立林業試験場

表一 1999年所管別オオアブラムシ類発生状況

所管	トドマツオオアブラムシ		エゾマツオオアブラムシ	
	被害区域面積(ha)	防除面積(ha)	被害区域面積(ha)	防除面積(ha)
北海道局	139.88	99.7*	204.90	133.57*
北見分局				
旭川分局				
帯広分局				
函館分局	4.00	4.00		
小計	143.88	103.70	204.90	133.57
道有林	184.00	180.00	485.00	484.00
民有林	27.94		6.28	
小計	211.94	180.00	491.28	484.00
合計	355.82	187.70	696.18	617.57

*要防除面積

表一 2 1999年に発生した森林昆虫(オオアブラムシ類を除く)

昆虫名	加害樹種	発生地(市町村)	発生区域面積(ha)	備考
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	恵山町	4.16	
		砂原町	242.28	
		鹿部町	357.32	
		七飯町	1481.52	
		上磯町	147.80	
		森町	928.96	
		大野町	73.36	
		知内町	11.28	
		樞法華村	13.72	
		南茅部町	241.40	
		函館市	247.44	
		八雲町	506.64	
		福島町	2.72	
		木古内町	12.68	
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	厚真町	1.68	
		歌志内市・赤平市	80.00	
		栗山町	340.00	
		栗沢町	180.00	
		剣淵町	26.60	
		上富良野町	2000.00	
		中富良野町	1000.00	
		美瑛町	50.00	
		富良野市	100.00	
		和寒町	203.80	
ニホンカラマツヒラタハバチ	カラマツ	小清水町	1476.64	国有林(1400.00ha) 民有林(76.64ha)
		清里町	254.36	国有林(73.00ha) 民有林(181.36ha)
		津別町	73.16	国有林(0.00ha) 民有林(73.16ha)
		東藻琴村	375.60	国有林(359.00ha) 民有林(16.60ha)
		美幌町	100.72	国有林(750.00ha) 民有林(250.72ha)
		弟子屈町	3389.04	国有林(2647.00ha) 民有林(742.04ha)
		標茶町	9.32	国有林(0.00ha) 民有林(9.32ha)
		北広島市	0.52	
カラマツヒラタハバチ				
モミコスジオビハマキ	トドマツ	当別市	199.12	
		芦別市・深川市	300.00	
コウモリガ	マカンバ	当別町	1.00	
キバネセセリ	ハリギリ	富良野町		東大演習林全域
オオアカズヒラタハバチ	トウヒ	当麻町	0.36	
イタヤハムシ	イタヤカエデ	富良野市		東大演習林全域
ドロノキハムシ	ヤナギ	富良野市		東大演習林苗畑
カラマツヤツバキクイムシ	カラマツ	月形町	6.00	
ヤツバキクイムシ	エゾマツ	富良野市		東大演習林全域